

経営比較分析表（平成28年度決算）

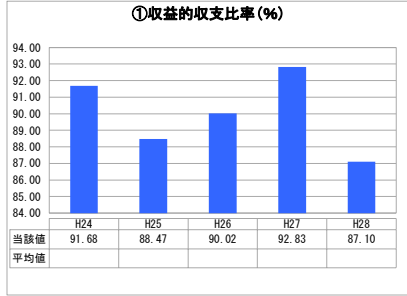
岡山県 新見市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	13.80	100.00	3,240

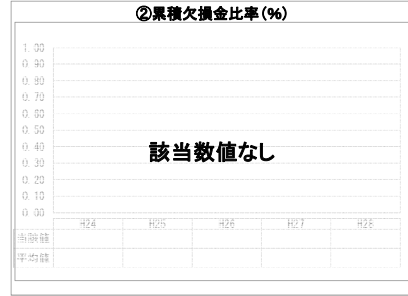
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
30,814	793.29	38.84
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,220	211.85	19.92

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
□	平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



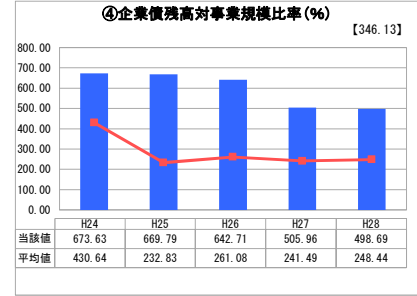
「単年度の収支」



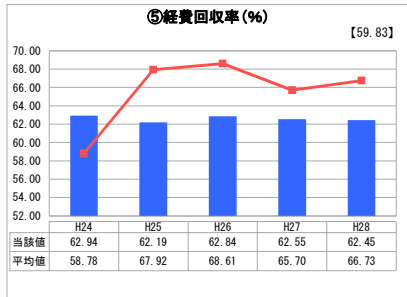
「累積欠損」



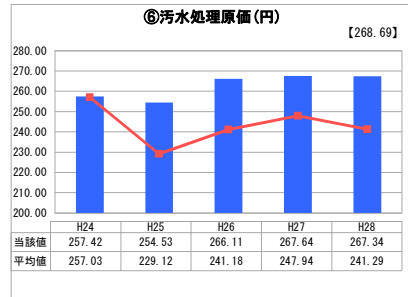
「支払能力」



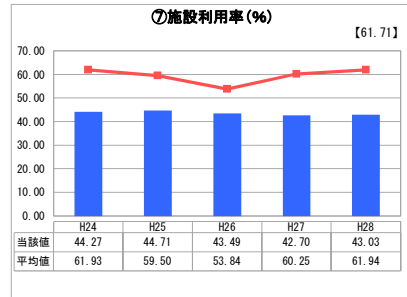
「債務残高」



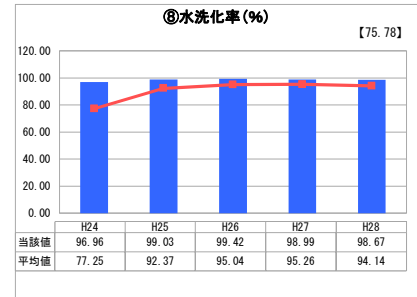
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

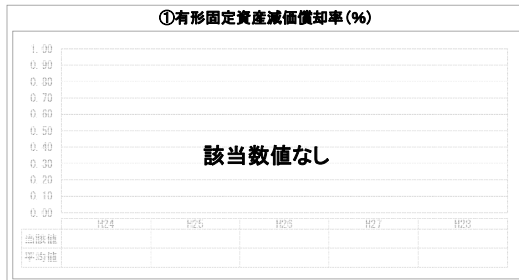


「施設の効率性」

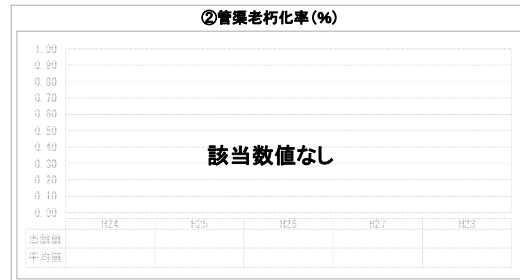


「使用料対象の捕捉」

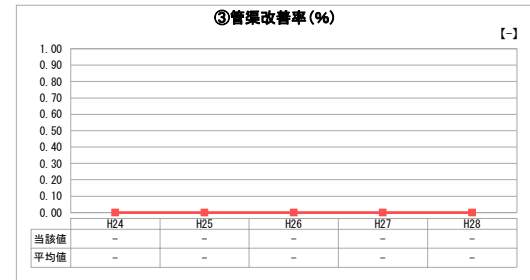
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率が100%を割り込む赤字経営となっており、事業規模に対する企業債残高や汚水処理原価が全国平均を上回っている。
 経費回収率は全国平均より低いが、下水道使用料が適切な金額に設定されていない面も考えられる。
 水洗化率はほぼ100%に達しているが、施設利用率は全国平均より低く、人口減少により計画値に達していない。

2. 老朽化の状況について

浄化槽設置基数は年々増加しており、古い設備の浄化槽フロア等の故障が予想され、計画的に更新を行っていく必要がある。

全体総括

収益的には赤字であり、適正な下水道使用料に設定を行う必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。